

低平地研究会

創立30周年記念 シンポジウム

主催:低平地研究会 共催:佐賀大学理工学部
後援:国土交通省九州地方整備局 佐賀県 佐賀市 (公財)佐賀県建設技術支援機構

令和5年12月2日(土)

14:00(開場13:30)~17:30

会場:佐賀大学理工学部6号館1F都市大講義室
(佐賀市本庄町1番地)

定員:180名
入場無料

※佐賀大学へ車でお越しの場合
お帰りの際に入構料200円が
必要です。

第1部

特別講演会

●特別講演『気候変動と気象報道』

14:00~開会挨拶

14:05~来賓祝辞

14:10~15:40

特別講演会



講師:吉竹 顕彰(よしたけあきら)氏
1957年生。武雄市出身。日本気象協会で気象予
測・解説業務に従事 1990年からNHK福岡で気象
キャスター出演開始 現在、NHK福岡夕方ニュー
ス番組「ロクいち!福岡」気象キャスター、NHK九
州・沖縄エリアの大雨・台風緊急報道番組気象
キャスターを務める。2023年「第74回NHK放送
文化賞」受賞

第2部

パネルディスカッション

15:50~17:30 ●テーマ:豪雨災害とこれからの低平地との付き合い方

・パネリスト:吉竹 顕彰氏(気象予報士、NHK福岡気象キャスター)
寺尾 直樹氏(国土交通省 武雄河川事務所長)
永松 義敬氏(佐賀県 県土整備部理事)
鈴木 宏一郎氏(佐賀市副市長)
富田 紘次氏(鍋島報効会理事・事務局長)

・コーディネーター:大串 浩一郎
(低平地研究会運営委員長、佐賀大学理工学部教授)

意見交換会

18:00~19:30

別途参加申込が必要です。【意見交換会参加申込締切 11月13日】

場所:佐賀大学かささぎホール 2階(立食形式)

会費:3,000円 ※当日支払 ■申込先メールアドレス:lora@lora-saga.jp

※注意:申込後のキャンセル不可

参加お申込み

※申込締切:11月26日

特別講演会、パネルディスカッションへの参加は

右の申込フォームよりお申し込みください。<https://forms.gle/J1JeAJekyDLG8UvH6>

参加申込は先着順となっております。定員になり次第締切とさせていただきます。

■問い合わせ先:低平地研究会事務局(佐賀市本庄町1番地 佐賀大学理工学部内)

E-mail: lora@lora-saga.jp (lora=アルファベットでエル・オー・アール・イー)

FAX/TEL:0952-28-8712

担当:武富

参加申込フォーム
QRコード



プログラムの内容と登壇者の紹介

第1部：特別講演会

特別講演『気候変動と気象報道』

近年、全国的に大雨、台風による豪雨災害が頻発、特に佐賀県や福岡県など九州北部での発生頻度が顕著で甚大な被害が毎年のように起こっています。このような豪雨の発生状況やメカニズムを気候変動の観点から検証し、さらに地球温暖化に伴う将来の気候の変化、気象災害の見通しについてご紹介いたします。合わせて、気象災害報道に長年かかわってきた経験に基づき、豪雨災害の気象実況の把握と予測の仕方、メディアを通じての伝え方のポイント、防災対応についてもお伝えいたします。

講師：吉竹顕彰（よしたけ あきら）氏 気象予報士・NHK気象キャスター

【気象キャスターとしてのモットー】

視聴者の皆さまに日々の気象情報、大雨・台風などの防災情報、さらに歳時記など四季の移ろい等を丁寧にお伝えします。

第2部：パネルディスカッション

テーマ：豪雨災害とこれからの低平地との付き合い方

佐賀平野の広がる低平地では、これまでいろいろな工夫により豪雨などの自然災害と何とか付き合ってきました。しかし、気候変動による災害外力の増大に伴い、国や自治体ではその対応に追われています。これからどのように低平地と付き合いかなければいけないのか、さまざまなパネリストと議論したいと思います。



広田川（武雄市北方町付近）防災ヘリより撮影(令3.8)
提供：佐賀県河川砂防課

パネリスト

■吉竹顕彰 氏

■寺尾直樹（てらお なおき）氏

国土交通省 武雄河川事務所 所長

1983年生まれ 2009年国交省 港湾局 湾技術企画課 技術管理室採用後、近畿地方整備局 姫路河川国道事務所 調査課長、同局企画課長、水管理・国土保全局 河川計画課課長補佐、同局砂防部 保全課 海岸岸 課長補佐を経て 2023年4月より現職へ

■鈴木宏一郎（すずき こういちろう）氏

佐賀市 副市長

1977生まれ 2002年国交省 九州地方整備局 武雄工事事務所調査課、八代河川国道事務所調査第一課長、水管理・国土保全局、環境省 自然環境局 自然環境計画課課長補佐等を経て 2021年国交省 総合政策局公共事業企画調整課 アセットマネジメント企画調整官
2023年5月より 佐賀市副市長へ就任

■永松義敬（ながまつ よしたか）氏

佐賀県県土整備部 理事

1973年生まれ 1998年建設省(当時)入省、近畿地方整備局 大和川河川事務所 所長、九州地方整備局河川部河川調査官、熊本県土木河川港湾局長、水管理・国土保全局 治水課流域減災推進室長を経て 2023年4月より現職へ

■富田紘次（とみた こうじ）氏

鍋島報効会理事・事務局長

1981年生まれ 同志社大学および同大学院を修了後、京都・洛南高等学校や同志社高等学校で日本史講師、熊本市立博物館での歴史調査員などを経て 2008年より公益財団法人 鍋島報効会（徴古館）に学芸員として勤務 現在は財団の理事および事務局長

コーディネーター

●大串浩一郎（おおぐし こういちろう）

低平地研究会運営委員長 佐賀大学教授

1961年生まれ 1986年九州大学大学院修了 2011年より佐賀大学教授 専門は水工学・河川工学 六角川学識者懇談会委員長、佐賀県川づくり委員会委員長、佐賀市排水対策基本計画策定委員会委員長、土木学会水工学委員会令和元年8月佐賀豪雨調査団団長を務める 佐賀市在住



武雄市北方町付近 (令3.8) 提供：佐賀県河川砂防課